

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 特許出願公開

⑯ 公開特許公報 (A)

昭57-119056

⑮ Int. Cl.³
E 04 F 15/04

識別記号

庁内整理番号
2101-2E

⑰ 公開 昭和57年(1982)7月24日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑱ 床材の一部貼替え方法

⑲ 特 願 昭56-5347
⑳ 出 願 昭56(1981)1月15日
㉑ 発 明 者 藤原悌三
門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

㉒ 発 明 者 藤田清臣
門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内
㉓ 出 願 人 松下電工株式会社
門真市大字門真1048番地
㉔ 代 理 人 弁理士 石田長七

明 細 書

1. 発明の名称

床材の一部貼替え方法

2. 特許請求の範囲

(1) 床に既設の床材の一部を除去し、除去され
た床材に隣接していた両床材の隣接面端部に沿つ
て雄ざね部を切欠し、新しい床材の両側端部に沿
って設けられた凹所内に発泡性合成樹脂を注入し
この新しい床材を除去された床材のもとの位置
へ戻込み、この凹所内の発泡性合成樹脂を発泡
させて隣接する床材の雄ざね部に嵌合する雄ざね
を形成することを特徴とする床材の一部貼替え
法。

(2) 床材の雄ざね部及び雌ざね部を一定ピッチ
規則的な形状に形成することを特徴とする特許
請求の範囲第1項記載の床材の一部貼替え方法。

発明の詳細な説明

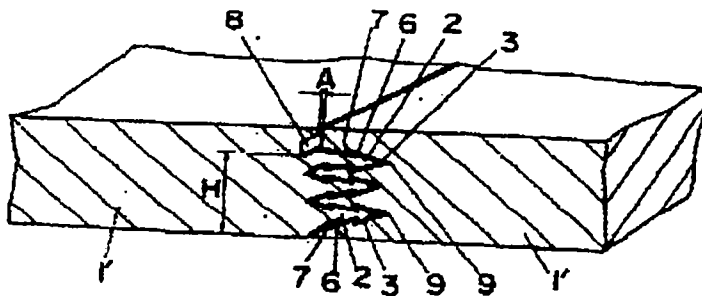
本発明は床材の一部貼替え方法に関する。

発泡性基材の床材(1)にあつては、第1図に示す

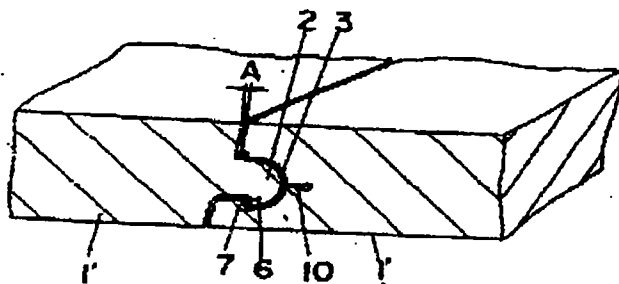
ように、両面片のご歯状の係合部(1)を持つ雄ざね部(2)と両内面片のご歯状の被係止部(3)を持つ雌ざね部(4)とを嵌合させることにより床材(1)間を連結して床に敷設されてあり、しかも係合部(1)と被係合部(3)とが互いに平行に密着して係合することにより床材(1)間の隙間Aが最小になるようにしてあつた。また、雄ざね部(2)の上に設けた凹所(5)に釘穴を設けることによつて釘の効く厚みBを大きくし、釘の効きを良くしてあつた。また雌ざね部(4)の底に接着剤(6)を塗布しておいて雄ざね部(2)と雌ざね部(4)の密着面積を大きくすると共に、床下からの隙間風を防止してある。

また、別な発泡性基材の床材(1)にあつては、第2図に示すように、床材(1)側の雄ざね部(2)と床材(1)他側の雌ざね部(4)とを嵌合させ、雌ざね部(4)下面の係合部(3)と、雄ざね部(2)下面の係合部(1)とを係合させて床材(1)間の隙間Aを最小にして空気に透射してあつた。また、雄ざね部(2)の底には切り継ぎを切入してあつて、雄ざね部(2)を雌ざね部(4)に嵌合させると共に雌ざ

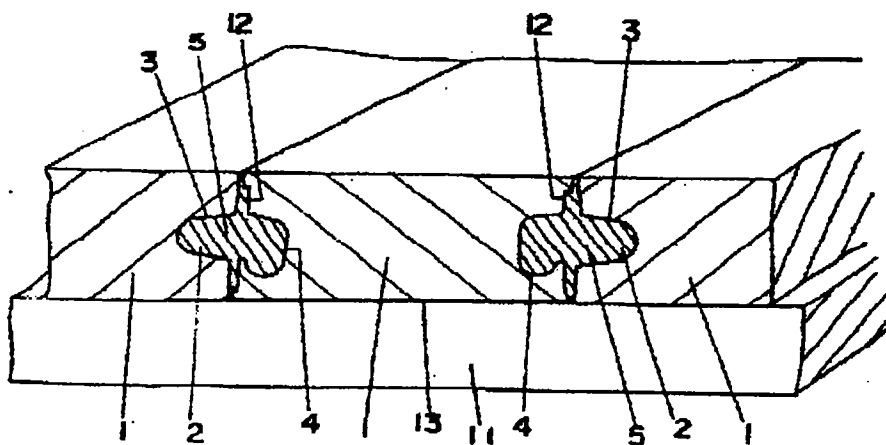
第1圖



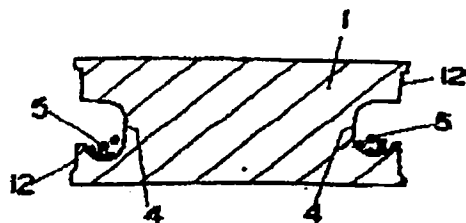
第2圖

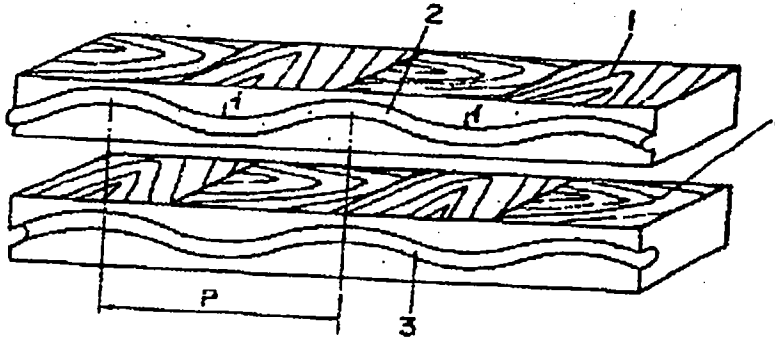


第3圖



第4圖





第 6 圖

